

12	オリンピック・パラリンピック準備局	総合的な競技力向上方策の推進
事業概要	<p>スポーツ祭東京2013における総合優勝とオリンピック等国际大会における東京都選手の活躍を目指し、東京アスリートの競技力向上を図るため、「東京都競技力向上基本方針・実施計画」（平成20年3月策定）に基づき、選手強化体制の整備、指導者の確保・育成、医・科学サポートによる支援の3つの柱により、東京アスリートを総合的に支援する。</p> <p>また、JOC等スポーツ関係の有識者、公益財団法人東京都体育協会や学校体育連盟等により構成される「東京都競技力向上推進本部」及びその下に設置した強化部会、指導者部会、医・科学部会により、事業の進行状況確認や検証を行う。</p>	
これまでの経過	<p>1 東京都競技力向上推進本部 医・科学ワーキンググループを平成25年10月末に開催した。また、強化部会、指導者部会、医・科学部会の3部会を平成26年2月に開催した。さらに、東京都競技力向上推進本部会議を平成26年2月に開催した。</p> <p>これらの会議の場において、スポーツ祭東京2013において総合優勝という成果を残したことを中心に、平成25年度の事業進捗状況について報告するとともに、2020年の東京オリンピックに向けた競技力向上の方向性について報告した。</p> <p>2 選手強化体制の整備</p> <p>(1) 平成25年度東京都ジュニア強化選手として31競技1,009名を認定した。</p> <p>(2) 将来、国民体育大会（以下「国体」という。）で活躍が期待できる小中高生を対象に、競技団体が強化練習、強化合宿等を行うジュニア特別強化事業を実施した。</p> <p>(3) ジュニアスポーツの普及とジュニア選手の育成を推進するため、地区の体育協会がスポーツ教室やスポーツ大会等を行う、ジュニア育成地域推進事業を実施した。</p> <p>(4) 競技団体が、即戦力となる国体候補選手に対して強化練習、強化合宿等を行う国体候補選手強化事業を実施した。</p> <p>(5) トップアスリート発掘・育成事業の第4期生25名に対して、育成プログラムを実施するとともに、第5期生の募集を行い、29名を認定した。</p> <p>(6) 都内の有力高校におけるモチベーションを高め、部活動の選手強化を支援していくため、東京都高等学校体育連盟等と調整の上、29競技において、「平成25年度東京アスリート育成推進校」102校を指定した。</p> <p>3 指導者の確保・育成</p> <p>(1) 平成25年度東京都国体選手強化指導員として国体40競技中、38競技397名を認定した。</p> <p>(2) 競技団体が実施する強化練習、合宿等に指導者を招聘する事業を実施した。</p>	

<p>これまでの経過</p>	<p>4 医・科学サポートによる支援</p> <p>(1) 大学と連携したスポーツ医・科学機能による測定や助言を行うスポーツ医・科学サポート事業を実施し、対象の10競技についてトレーニングサポートや栄養サポートなどを総合的に行った。</p> <p>(2) トレーナー等の人材登録を進め、競技団体が行う強化活動等に派遣した。</p> <p>(3) ジュニア選手、指導者、保護者等を対象とする講習会を実施した。</p>		
<p>現在の進行状況</p>	<p>平成26年度の事業実施に向けて関連団体との調整等を行っている。</p> <p>(1) トップアスリート発掘・育成事業</p> <p>(2) ジュニア育成地域推進事業</p> <p>(3) 競技力向上事業</p> <p>(4) テクニカルサポート事業 等</p>		
<p>今後の見通し</p>	<p>1 東京都競技力向上推進本部 平成26年3月末が本部の設置期限であり、本部としては終了するが、これまで培ってきた競技力向上のレガシーを最大限に活かし、今後は、東京オリンピックに向けた選手強化の取組を検討していく。</p> <p>2 選手強化体制の整備 トップアスリート発掘・育成事業を着実に推進するとともに、平成26年度の事業実施に向けて、準備を進めていく。</p> <p>3 指導者の確保・育成 トレーナー等医・科学スタッフの登録・派遣事業を着実に進めていく。</p> <p>4 医・科学サポートによる支援 テクニカルサポート事業に取り組むといくとともに、医・科学講習会等を引き続き、実施していく。</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部 事業推進課</p>	<p>電話</p>	<p>03-5320-7715</p>